

元気で躍進 地域経済

MMM

# 新商品開発、海外戦略も

## 新リーダーに榎社長(サカキ&E)

松阪市内の医療機器関連企業6社でつくる松阪メディカルメンバーズ(MMM)が20日、同市大町町の三重化学工業(株)本社ミエラボで総会と活動実績・成果報告発表会を開催した。発足3年目の今年のリーダーには(株)サカキ&Eワイズ(本社同市上川町)の榎宏之代表取締役社長(64)を選任。発表会では榎さんが、今年の活動方針として、新商品開発部会の設立、MMMブランドの立ち上げなど5本の柱を発表した。

6社は、三重化学工業とサカキ&Eワイズの他、岩崎工業(株)(三重、ラント同市広陽町)、(株)オ



3年目のリーダーとして本年度の活動指針と抱負を述べる榎社長＝大町町の三重化学工業本社で

榎社長は、初年度リーダーの家根谷武・岩崎工業常務取締役(59)が1年目の活動内容を報告し、次いで2年目のリーダーの田中寛人(株)オクムラ会長(59)が同年の活動内容と、過去2年間の商談実績を披露。MMMの活動を通して行われた新規商談件数が60件、そのうち契約に至ったのは11件、進行中が21件など。受注したPB(プライベートブランド)商品の売上が1049万円、受注したNB(ナショナルブランド)商品の売上が267万3千円、総額は1316万3千円だった。続いて榎さんが登壇し、3年目の活動方針を発表。5本の柱は①新商

品開発部会の設立②海外戦略準備部会の設立③MMMブランドの立ち上げ④川本産業(株)(大坂市に本社を置く医療・衛生材料の総合サプライヤー)でMMM展示会を開催⑤MMM合同でのリクルート活動―と決まった。榎さんは3年目の抱負として「市場は有限、や

り方は無限。五つの柱に對して有言実行で結果を出したいと思っている。3年目、自由にトークし合って、いい結果が出せるようにしたい」と意欲を見せた。

発表会にはメンバー企業の14人と来賓を合わせて29人が参加。来賓を代表して、竹上真人市長

松下一・県雇用経済部長(58)と青山美代子・経済産業省中部経済産業局航空宇宙・次世代産業課課長(59)が代わる代わる祝辞を述べた。

青山さんは(発足後)最初にお互い工場見学会をやられたというのはすごく感動した。相手をよく知った上で、自社だけでは解決できないことを「あそこの技術を使えばできる」と提案の幅が広がる。競合として捉えるのではなく共創できるかといったところで、異分野の技術の組み合わせで新しいヘルス分野の製品・サービスを作っていく素晴らしい取り組みとたたえた。